

2021年秋年末闘争・組織拡大 CTGの建交労道本部闘争速報

2021年10月20日/第5号

〒060-0909 札幌市東区北9条
東1丁目北海道労働センター2F
TEL011-711-7377
FAX011-711-7388
e-mail/ctg.hokkaido@gmail.com

いよいよ総選挙＝10月31日投票

9つの小選挙区で統一候補

比例代表ふくめ政権交代を

10月19日に衆議院総選挙が公示されました。今回の選挙は安倍・菅政治を引き継ぐ政権ではなく、「くらしといのち最優先」の新しい政治に転換するチャンスです。立憲民主党と共産党は道内9選挙区の統一候補で合意しました（3選挙区ではそれぞれが候補を立てます）。これらの候補の勝利とともに、比例代表選挙で立憲野党を前進させて政権交代を実現しましょう。

【統一候補】1区＝道下大樹／2区＝松木謙公／3区＝荒井優／4区＝大築紅葉／6区＝西川将人／8区＝逢坂誠二／9区＝山岡達丸／10区＝神谷裕／11区＝石川香織
【独自候補】※届出順 5区＝橋本美香（共産）・池田真紀（立民）／7区＝篠田奈保子（立民）・石川明美（共産）／12区＝川原田英世（立民）・菅原誠（共産）

北海道鉄道本部が年末一時金要求提出

北海道鉄道本部は10月13日、JR北海道に年末一時金の要求書を提出しました。要求は「正規・非正規の格差を設けずJR北海道で働く全ての労働者に年末一時金を支給すること」「基準内賃金の4か月分を支払うこと」「基本給が減額されている55歳以上の社員については減額前の基本給で支払うこと」「熟練労働者であるエルダー社員にスキルに見合った報酬の支払いをおこなうために現行で定められている乗率1/2を実行しないこと」などです。

各職場組織の「燃料手当（寒冷地手当）」と「年末一時金」の状況をお知らせください

JR北海道との経営協議会を開催

北海道鉄道本部は10月6日JR北海道と経営協議会をおこないました。会社から「上期主要施策の取組状況と下期収入回復に向けた取組」の報告があり、新型コロナ禍による移動自粛で依然として利用者減が続く中で観光列車の導入や学園都市線で駅の新設がおこなわれるなど沿線自治体や住民・企業から協力を受けて利用促進に取り組んでいることが説明されました。組合からは、先に説明を受けている観光列車の指定席料と快速エアポートのUシート料金の大幅な値上げについて、生活と密接する路線でのUシート料金値上げは道民の暮らしに与える影響が大きいことを述べて見直しを迫りました。また、ロイズ駅（学園都市線・当別町）の新設のように通勤・通学や買い物など日常生活で列車の利用拡大となる新駅の設置について、人口増加を適確に捉えて素早い対応をおこなうことを求めました。そして、鉄道ファンなど広範囲な声を集めてイベント列車の計画や「キタカ」作成の企画など小さな取組の成功から大きな増収につながる施策の検討を示しました。